2022年度事業計画書

（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

特定非営利活動法人フードバンク京都

1. 事業の方針

特定非営利活動法人フードバンク京都は2018年10月に発足以来「もったいないからありがとうへ」を合言葉に、破棄される食品を、少しでも支援が必要な人々に届ける活動を進めてきました。

フードバンク京都は、食べ物を通して必要とされる人たちへの支援の活動を継続、発展させて行くことを基本に、地球環境維持のSDGｓなどの取組も進めていきたいと考えます。

そのために、設立趣旨や定款に基づいて、引き続き以下の事業を進めます。

1. 社会福祉施設及び要支援者への支援を行っている団体への食品提供事業
2. 行政機関などからの要請に応えて、要支援者への食品を手配する緊急支援事業
3. 個人、団体、企業からの食品の引き取り事業
4. 支援農産物の確保のための自主農園での生産事業

これらの事業を発展させるために、次の活動を重点に取り組んでいきます。

❖食品の回収量の増加に対応した体制を作ります。

有り難いことに、フードドライブをしてくださる店舗が増え、食品の回収量が増加しています。それに対応するため、

1. より広い事務所に移転します。
2. 緊急支援依頼からお届けまでの作業の効率化を行います。

❖専従者の雇用を目指します。

　社員（会員）及びボランティアに支えていただいている仕分け、アソート（支援品準備）、配送、野菜作りといった具体的な活動以外の、支援依頼などの問い合わせの対応、配送者の手配、助成金の申請手続きといった業務も増えてきました。これらの業務は、理事が担っていますが、本業の片手間では追いつかない量となっています。そのため、活動を継続・発展させていくためにも、専従者の雇用を目指します。

❖寄付金の増収を目指します。

　新事務所の家賃、専従者の雇用費を捻出するため、寄付金の増収を目指します。具体的には、HP等の情報発信により個人からの寄付を募るとともに、企業サポーターの勧誘にも力を入れたいと思っています。

❖無理のない配送、引取業務の体制作りを進めます。

配送や引取業務の増加に対して、配送スタッフの増員はもちろんのこと、無理のない体制作りを考えていきます。昨年度より、塚腰運送さまが食品輸送保管パートナーとなってくださり、食品の引取や保管を安価で提供してくださっています。このような協力企業を増やす、緊急支援物資を取りにきてもらえるところには取りにきてもらうなど、知恵をだしていきたいです。

❖自主農園での設備の充実をはかります。

　地球温暖化により年々、夏が熱くなり、農作業がしにくくなっています。さらに畑作業に関わるスタッフが増えてきたので、暑さをしのぐための休憩場所の確保が必要になってきました。また、収穫した根菜類の保管場所が現在はないため、計画的に支援にまわせないこともあります。そういったことを解消するためにも、昨年度実施できなかった小屋作りを今年度の継続課題とします。その際は、雨水利用や井戸の造設なども考慮に入れたいと思います。

2　事業の実施に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名（定款に記載した事業） | 1. 社会福祉施設及び要支援者への支援を行っている団体等への食糧提供事業 |
| 具体的な事業内容 | 母子支援施設、児童養護施設、自立支援ホーム、子ども食堂の他、炊き出しなどで困窮者への支援活動を行っている団体への食糧支援を行う |
| （Ａ）当該事業の実施予定日時 | 毎月 |
| （Ｂ）当該事業の実施予定場所 | 京都府内の各施設 |
| （Ｃ）従事者の予定人数 | 月毎約40人 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | 施設などへの入居者や利用者 |
| （Ｅ）予定人数 | 月毎約1,000人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名（定款に記載した事業） | 1. 行政機関などからの要請に応えて、要支援者への食糧を手配する緊急支援事業 |
| 具体的な事業内容 | 行政機関を通じて、困窮状態に陥った個人へ出来るだけ迅速に支援食糧を届ける |
| （Ａ）当該事業の実施予定日時 | 毎月 |
| （Ｂ）当該事業の実施予定場所 | 京都府内 |
| （Ｃ）従事者の予定人数 | 月毎約30人 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | 行政機関が支援を必要と判断した個人 |
| （Ｅ）予定人数 | 月毎約30人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名（定款に記載した事業） | 1. 個人、団体、企業からの食糧の引き取り事業 |
| 具体的な事業内容 | フードドライブ、災害用備蓄食料、余剰食品など無償で提供していただける食糧を引き取る |
| （Ａ）当該事業の実施予定日時 | 毎月 |
| （Ｂ）当該事業の実施予定場所 | 主に京都府内 |
| （Ｃ）従事者の予定人数 | 月毎約30人 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | 支援が必要な個人、施設などの入居者や利用者 |
| （Ｅ）予定人数 | 月毎約１,000人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名（定款に記載した事業） | 1. 支援農産物の確保のための自主農園での生産事業 |
| 具体的な事業内容 | 無償貸与を受けている農園で、有機農法の専門家の指導も受けて、より安心な農産物を生産する |
| （Ａ）当該事業の実施予定日時 | 毎月曜日と隔週日曜日 |
| （Ｂ）当該事業の実施予定場所 | 京都市西京区大原野上羽町 |
| （Ｃ）従事者の予定人数 | 月毎約６0人 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | ①と②の事業の対象者 |
| （Ｅ）予定人数 | 月毎約１,000人 |